

## 高齢者ドライバーと福祉と警察の連携を



- 広島県内の令和5年末運転免許保有者183万8229人のうち、**70歳以上が33万8,660人で保有率に占める割合は18%**。中山間地域は4万2,659人で保有率は29%となっている。
- 埼玉で3月免許更新をした高齢ドライバーが集団下校の小学生の列につつまみ、被害者の児童が意識不明の重体となったが、事故原因は認知も推察され家族からも免許返納を促されていた。
- 都市部と中山間地域では**買い物難民**といった生活困窮に拍車をかけるので、免許返納が根本的な解決策になるとは思えない。

### 村上栄二の提案

- ライドシェアの議論もあるが既存の講習や交通安全教育に加え、**民間での認知機能低下を確認できるアプリ類のツールを導入する事。**
- 認知機能の低下は、ご自身では気づきにくく、高齢ドライバーのご家族が気付きやすい。しかし**身内には言い難いという課題に対する観点からは、厚労省が進める認知症サポーターキャラバンでチームオレンジという制度を連携し、認知症の早期発見や支援活動を担う福祉の分野との連携も有効。**



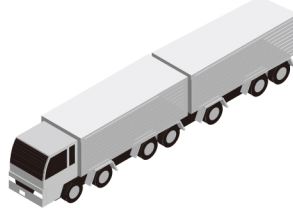
### 認知症のチームオレンジ制度

◀ 詳しくはこちらのQRコードから



※ **ライドシェア**とは、一般ドライバーが自家用車で乗客を有償で運ぶサービスです。

## 福山通運が連結トラック1,000台導入 行政はいち早く連動せよ



- トラックの運転手の4割以上が50代を超え、長距離運転手の労働者不足は14%に達する中で、年間残業時間960時間に制限されるために直近で**25年度ドライバーは14万人不足、輸送力は30年度に34%不足されるためより一層深刻化する。**
- 国土交通省によると1,000トンの荷物を1キロ運ぶのに必要なドライバー数は通常のトラックに比べて**最大5割減**できるほか、**二酸化炭素排出量も4割減が可能**となるのが連結トラックだが、安全な通行観点から必要な条件を付した**特殊車両通行許可が必要。**
- 道路構造や休憩施設など検討しながら通行可能な区間を順次広げ、**22年11月から区間を3,000キロ以上拡大し5,140キロに拡充**している。今後も**幹線道路(大きな道幅)では大型輸送が増えていく事が予想**される。カメラモニタリングシステムなど車両装置装備が義務付けられており、牽引免許の保有、安全教育訓練の受講などの条件が設けられ、**追い越しや縦列走行が禁止**されている。

### 村上栄二の提案

- 国はダブル連結トラック導入経費助成、県は大型自動車免許や牽引免許取得支援を行っているが現状は自社育成で占められているので**真に中小企業の物流会社が必要としている政策やインフラ整備をヒアリングすべき。**
- 県が国と協議しながら道路構造や休憩施設など検討し、**広島県においてビッグデータやAIを活用し、より物流効率を上げていく広島県物流道路を作り出して**いくべき。
- 日本トレクスという会社(輸送用機器の製造販売)が今年の4月に**トレクスドライビングスクールを開講**しており**今後ダブル連結トラック講習を予定**。広島営業所ともヒアリングを行い課題を浮き彫りにし、普及促進へと繋げる政策と制度設計を創るべき。



冊子(不定期発行)にてその他の情報も掲載しています。ご希望の方は下記連絡先までお問い合わせください。

(有)DC開発研究所 Tel. **084-999-3166**(代表)



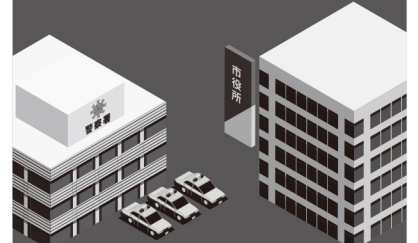
意見広告



村上 栄二のここだけの話

今月のテーマ

今後の交通政策に  
役所連携が問われる



【お知らせ】今月予定しておりました「罪種の変化と共に警察組織にも変化を」(後編)は都合により今後改めて掲載いたします。

賃貸マンション、月極駐車場  
**「空き」あります!**

**Consort homes**

お問い合わせ

(有)DC開発研究所  
Tel. **084-922-7001**  
〒720-0052 福山市東町2-3-2